



森づくりサポーターニュース

平成31年(2019年) 3月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@morigukuri.info URL http://www.morigukuri.info

春から初夏(4~6月)の森(4)

～四季の森の魅力～



3月の目前で、やっと昨秋の台風21号で倒れた木々を整理しました。今年の桜の開花予想では、例年より5日ほど早く、彦根もニュース発行とほぼ同時の3月28日に咲くようです。先日から園内でヒバリが囀っている声を聴きます。ウグイスが先と思っていたのですが、この時期のヒバリは恋の相手を探すか、取り合うために囀っているのでしょうか。

さて3月に入り、里の森ゾーンの遊具のある芝生広場(冒険の森)から西側の森へ、水路を渡る沢渡り石(沢飛び石)を据え付けました。以前から子供たちが森に行きやすくなればと考えていたので、活用が楽しみです。また、同じ里の森ゾーンに2か所に分けて12基ほど健康遊具が設置されます。主に大人対象ですが、すぐに使っていただけます。さらにふるさとゾーンでは、河畔林の竹林の中程を横切る園路を造っています。水路近くの新しい四阿あたりから階段で上がり、窓木のある西側の園路に繋ぎますので、大いに散策に利用してください。

台風21号の被害木は、河畔林として残っていた大木、公園樹として植えた成木、植えていただいた苗木が大きくなったものを合わせ、約100本にも上りました。ふるさとゾーンの

河畔林では、根元径が80cm程の木々が折れたり、根こそぎ倒れていきました。竹林内のクサソテツ(コゴミ)の群落は、整理する重機で踏まれてしまい残念な状態になりました。ふれあい池近くの白梅は、太い幹がボキッと折れましたが、幸いにも根元の方にきれいな白い花をつけてくれました。

大エノキから北へ陸橋を越えてふれあいゾーンに入った「ふれあいウォーク」のコースでは、ムベやアケビ、サネカズラなどのつる植物が伸びてきました。そろそろ近くの木々につるがしっかりと伝っていくように、添木やシュロ縄で誘引しようと思っています。春から初夏の森は、ウメやレンギョウなどの白や黄色の花、アジサイなどの赤や青色の花など色とりどりの花で賑わいます。森は台風の傷手も何もなかったように青葉若葉をつけることでしょう。



四阿近くから階段ができます



コゴミの群落がありました



折れた梅の木



つるの伸びたムベ



ウメの開花

第4回

「森づくりセンター活動」開催!

早春の光が差し穏やかな天候のもと、平成30年度最後の「森づくりセンター活動」が、平成31年3月9日(土)に開催されました。

当日は、森づくりセンター96名、ガールスカウト18名、計114名の多くの皆さん方が参加し、江見所長のあいさつと活動内容の説明のあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりセンターの皆さんは、平成22年～24年植栽の里の森ゾーンの落葉樹林地と平成16年～17年植栽のふれあいゾーンの常緑樹林地で間伐と枝落とし作業を実施しました。間伐や枝落としは残った木の生長を促し健全な森に育成していくため欠かせない作業です。少し太い木の伐採や枝払い、切った木の整理などなかなか大変な作業でしたが、皆さん熱心に取り組んでいただき、明るくなった森は爽やかな風を受け一段と元気を取り戻しました。



開会式の様子



落葉樹林地の間伐・枝落とし作業



常緑樹林地の間伐・枝落とし作業

一方、ガールスカウトの皆さんは、中村實先生の指導のもと、「森で春を見つけよう」をテーマにした自然教室で、地面にはりついで春を待つロゼット状の植物や寒い冬を過ごしてきた冬芽の様子、ユズリハやオニグルミ、蔓性のクズなど葉が落ちたあと枝に残る動物の顔に似た葉痕(ようこん)など様々な植物に触れながら春の訪れを感じました。その後、クヌギやコナラの間伐材にシイタケ菌を打ち込む体験をしました。



ロゼット状植物の観察



冬芽の観察



ユズリハの葉痕観察



シイタケ菌打ち体験

活動後は、みんなで豚汁とおにぎりを賞味し、体の温もりを感じるとともに体の疲れがちょっぴり癒されました。

参加していただきました皆さん、ありがとうございました。来年度も、さらに充実したセンター活動を計画していきますので、どうか皆さんのご協力をお願いします。

第5回

「森づくり活動団体」意見交換会を開催！

1月31日に、森づくりサポーターとして登録され、定期的に活動されている団体(ふくの会・さんまる会・森樂・みいの会フォレスト・32期園芸・レイカ33会・みろく会・レイカ36会・さんなな会・みんなの会・はやの森探検隊・花の38会・ENG39A)の代表者など31名が集まり、5回目となる意見交換会が行われました。

まず、それぞれの団体の紹介・活動状況として、「雨の日は勉強会をしている」、「担当地の四阿周りにセンリョウ、マンリョウの種をまいた」、森の小道つくり、シイタケの収穫の多い少ない、参加状況の良し悪し、などのお話を伺いました。



続いての意見交換では、「つくった森の小道に誘うためにアジサイを植えたい」、「活動への参加者が少なくなってきたので、活動日を他の団体と合同にしたい」、「草刈り機を増やしてほしい」などの要望がありました。また、「水路で遊べないか、水や生き物と関われる仕掛けをつくりたい。以前、橋をつくった。」などの意見もありました。安全に配慮しながら、間伐材の杭や粗朶などを活用して、何か作りたいと思います。

また、「森のつどい」の体験コーナーの開始時間について、「早いブースと、時間を守っているブースがある」との課題があげられました。これについては、周知徹底が必要ですが、「ふれあいウォークからの帰り具合を見て、開始の放送がありますので、それまで待ってほしい」ということでした。

今井サポーター代表から、「育樹活動やクラフト・シイタケ栽培などの間伐材利用と併せて、森の(空間・場所の)利活用についても知恵をお借りしたい。」旨の発言がありました。将来の利用の方法・目的によって、間伐の方法や程度も変える必要があると考えます。

森づくりアドバイザーの中村先生からは、「『森のつどい』の体験ブースでは子供たちが夢中になっています。最近の子供たちは「忙しい」ようで自然体験が少ないので、準備は大変かと思いますが、秋にもう一回、クラフトなどの体験コーナーを開催できないでしょうか。」と提案がありました。地元の行事とのタイアップなど、いろいろやってみたいと思います。

サポーターの皆様、無理せず、怪我せず、楽しみながら、息の長い活動をお願いします。



草刈り



「しおり」に四つ葉のクローバーを



体験ブース、クラフトの準備



お知らせ

びわこ地球市民の森のつどい 2019 について

2019年度のつどいは、「育もう みどりの未来 つないでいこう みどりのバトン」をテーマに5月26日(日)に開催します。

縁あふれる森のつどいに多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

2019 年度森づくりサポーター活動の予定

- | | |
|----------------|-------------------|
| 2019年 5月26日(日) | びわこ地球市民の森のつどい2019 |
| 2019年 7月27日(土) | 植栽地の育樹活動と自然学習など |
| 2019年10月12日(土) | 植栽地の育樹活動と自然学習など |
| 2020年 3月 7日(土) | 植栽地の育樹活動と自然学習など |

2019年度びわこ地球市民の森・森づくり講座

県営都市公園「びわこ地球市民の森」では、『森を学ぶ』、『森を調べる』そして『森で楽しむ』ことを目的とした「森づくり講座」を開催します。この講座で身近な自然と森づくり活動について学び、体験して、森の育成や環境のために自分ができることを見つけましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

1 会 場 びわこ地球市民の森「森づくりセンター」
〒524-0102 守山市水保町 2727

2 開設日時 2019年6月～2020年3月の原則として毎第3土曜日
午前9時から12時まで

3 講座の主な内容（講師等の都合で講座内容の変更がある場合があります）

開講日	講座の内容	開講日	講座の内容
2019年6月15日(土)	開講式 (講話) 森づくりの目的と今日までの経過、そして今後の維持・管理の進め方 (実習) 初夏の自然観察と園内の案内	11月16日(土)	(講話) 巧妙な植物の繁殖方法と種子の広がり方を学ぶ (観察) 秋の自然観察（いろいろな種子を観察し、その広がり方を調べる）
7月20日(土)	(講話) 滋賀県の環境政策の方向性について (講話と調査) 植栽地の管理と森の土壤	12月21日(土)	(講話) 森の樹木の話とドングリをつける樹木の特徴 (実習) 間伐材やドングリ、落ち葉等でクラフトを楽しむ
8月17日(土)	(講話) 地球規模の環境問題の現状と課題 (講話と実習) 夏の森を写そう（写真撮影を楽しむ。次回に作品提出・館内展示）	2020年1月18日(土)	(講話) びわこ地球市民の森をビオトープとして再生しよう (講話と実習) キノコの生活の特徴とシイタケの菌打ち
9月21日(土)	(講話) 森のしくみと移り変わり (講話と調査) 各ゾーンの植樹地の樹林密度を調べる	2月15日(土)	(講話) 生物多様性危機の現状と森の外来生物について (講話と観察) 生きものの冬越しを観察する
10月12日(土)	(実技) 第3回森づくりサポーター活動に参加 (観察) 河畔林（ふるさとゾーン）の観察をしよう	3月21日(土)	(講話) 地球市民として「森づくり」に参加しよう (グループ討議) これからの森の利・活用について考える 閉講式：修了証の授与
備考	◎ 森づくりサポーター活動（年4回）では、主に植樹地の間伐、枝打ち、つる切り作業等をします。第3回の活動を、第5回講座（10月12日）に組み入れています。（時間：9時30分～12時30分）なお、他の3回は次のとおりです。①第1回：5月26日(日)（実施済み）、②第2回：7月27日(土)、③第4回：2020年3月7日(土)（第2、4回は、自由参加です。）		

（募集人員、受講料、申し込み方法等については、「森づくりセンター」までお問い合わせください。）

編集後記

今年度のサポーター活動は、5月、7月、10月、3月と年4回延べ393人の皆さんの参加のもと予定どおりの活動を終えることができました。

また、サポーター登録されている皆さんは、3月20日現在で21団体（昨年度16団体）、458人（昨年度399人）となり、さらに多くの企業・団体様のご協力もあって、年間を通じて一層充実した森づくり活動ができました。

ご参加いただきました皆さんありがとうございました。来年度は新しい元号に変わります。森づくりセンタースタッフ一同気分も新たに森づくり活動に努めていきますので、引き続きご協力いただきますようよろしくお願いします。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808 m ²
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(H29)	176,136人
森づくり活動参加者数(H29)	7,550人
うちサポーター活動参加者数(H29)	2,936人